



緑

中

だ

よ

り

令和3年5月21日

<教育目標> ○すすんで学び、高い知性を身につけよう ◎社会の一員として、思いやりのある人になろう

○希望をもって、ねばり強くやりぬく人になろう ○からだをきたえ、健康な人になろう

## 体育会の実施に寄せて

校長 金井 誠

30数年前、私は母校の中学校で教育実習をさせていただきました。丁度実習期間中に体育祭があり、私は記録係を任せられ、主に屋上から生徒の活動の様子をビデオカメラで撮影していました。準備体操が終わり、3年生男子の短距離走が始まりました。その時、我が目を疑うような光景がレンズを通して飛び込んできました。…短距離走なのに、生徒が走らないのです。同走4人で話をしながら、ダラダラと、走っているのか歩いているのか分からないような速度でゴールに向かっていました。次の組の生徒も同じでした。その次の組も…。全力で走る生徒が現れると、「おおっ！」という驚きの声とともに、生徒席からどよめきが起きる始末でした。

自分が卒業して6年ちょっと。あまりの変わりように愕然とするとともに、彼らの態度に激しい怒りを覚えました。しかし、そのうち、こんなふうに思えてきました。「彼らは体育祭の楽しみ方を知らないんだ。クラスで一つの目標に向かって努力することのよさを知らないんだ。そういう経験をしてきていないんだ…」そう考えると彼らが心の底からかわいそうに思え、何とも言えない脱力感に襲われました。

海外では「運動会」のような行事がない国や地域が多くあり、「大ムカデ競走（今年度本校では実施を見送りました）」や「大縄跳び」「全員リレー」など、「なぜあのようなことを全員でするのか？」と疑問に感じる人も少なくないそうです。しかし、これらの競技に真剣に取り組み、一回でも多く、一秒でも早く、と工夫していく中で、先を見通しながら戦略を立てて思考力や判断力を養っていることは、想像に難くないと思います。また、リーダーが育ってきたり、話し合い活動が活発になったりもしますし、もちろん、みんなで一緒に競技することで協調性を育て、思いやりの心を育み、互いの個性を認めるきっかけとなり、集団で取り組むことのよさも味わうことができます。こうして考えてみると、「運動会」は教育的な効果が非常に高い取組であることが分かります。コロナ禍の中、緊急事態宣言下ではありますが、本校は5月29日（土）に体育会を実施いたします。生徒には、体育会をとおして多くのことを学んで、体験して、実感してもらいたいと思います。保護者の皆様には、5月14日にお配りした印刷物で、地域の皆様、ご来賓の皆様と同様に、ご参観をご遠慮いただくことをお願いしたところですが、感染リスクの低減を図り、生徒の貴重な学びの場を確保するための判断であることをご理解いただきたく存じます。

翻って先の30数年前の中学生、彼らは体育祭で何を学んだのでしょうか。一所懸命な姿をバカにしたりせせら笑ったり、そういったことを格好いいとするような時代と年頃でしたが、仲間と一緒に一つの目標に向かう素晴らしさを経験しなかった（できなかった）彼らが、今でもかわいそうに思えてなりません。

## 5月17日（月）体育会全体練習



入場練習の様子



体操の隊形練習の様子



ラジオ体操練習の様子

1校時に、5月29日（土）実施予定の体育会に向けた全体練習を実施しました。この日は、入場練習・ラジオ体操の隊形・ラジオ体操の練習をしました。

## 5月19日（水）前期生徒総会

5校時に、今年度前期生徒総会を実施しました。体育館に全生徒が集まることによる密を避けるため、Google Meetを利用して、教室（特別教室含む）で視



生徒会役員と委員長の様子



教室での視聴の様子

聴しました。体育館には、生徒会役員及び各委員会委員長が舞台上で挨拶をし、事前に集約されていた質問に対して各役員・委員長が回答および説明をしました。教室では、議案書を手にした生徒たちが、説明を聴きながら確認をしていました。